プール監視員の主な仕事内容

１　人数確認のための子どもへの説明（代表者が始めに行う）

（１）**プールからあがるごとに必ず**，学年ごとに**バディ**（人数確認）を行う。

　　→　ラジオ体操を始める前に，学年ごとにバディをつくる。（監視員の学年担当が確認する。）

（ペアはだれでもよいが，覚えさせる。）

（２）一旦プールサイドに入ったら，原則として**校舎には戻らせない。**（人数把握，事故に備えるため。）

（３）途中，**寒さを訴える**などでプールからあがる場合は，**校舎に戻って着替えたら，またプール**

**サイドに戻ってくるよう声をかける。**（家には帰らせない。）そのようなときは，**必ず自分の学年担当の監視に報告する。**

（４）終わってからも，**勝手に家に帰らせない。**

　　→　ピロティで方面ごとに集まり，カードを受け取ってから「さようなら」。

２　してもいいことと悪いことの説明（代表者が始めに行う）

　　○ビート板は使ってもよい。　　　×大きな浮島，足ひれなどはダメ。

　　×プールサイドは走らない。　　　×飛び込みは，どんなものもダメ。（足から静かに入る。）

　　×人を沈めたり，多くの人で一人に乗りかかったりしない。

　　×ふざけておぼれたマネをしない。　　×どんな物でも投げない。（ビート板や帽子なども。）

３　子どもの体調への配慮（遊泳時・休息時に監視員が行う）

　○浮いていたり，沈んでいたりする子はいないか。（特にプールのすみや中央付近）

　○青白い顔をしている子はいないか。（寒いのに無理して入っている？　→　休憩させる。）

４　監視員の立ち位置と見る方向

晴天時

荷物置き場

シャワー

**４年**

**担当**

**２年**

**担当**

**６年**

**担当**

**監視台**

**（代表者）**

水道

**ハンコ**

**担当**

トイレ

　　機械室

物置

　テント

**１年**

**担当**

**３年**

**担当**

**５年**

**担当**

５　遊泳中の時間配分

全員があがり，バディで

人数確認ができたら

次の学年を入れる。

これを３回くり返す。

（最後は時間調整する。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1５分 | 5分 | 1５分 | 5分 |
| 着替え  バディ  体操 | 遊泳 | あがる  バディ  確認 | 遊泳 | あがる  バディ  確認 |